

優秀賞

都市計画道路 須賀川駅並木町線 整備事業

(須賀川市)

■表彰対象者：福島県土木部

表彰の理由

地方都市における中心商店街の幹線道路の整備に当たって、沿道区画整理型街路事業を取り入れ、地元の協力を得て良好な町並みを形成するとともに、電線の地中化や優れたデザインの街路照明を設置するなど、快適な都市空間を創出したことが評価された。



全景



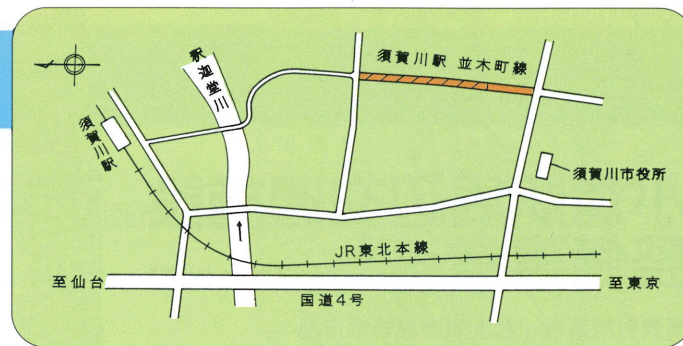
歩道



松明あかしをイメージした街路灯

事業のあらまし

須賀川市は、福島空港を有し、福島県のほぼ中央に位置する主要都市である。本事業は、中心市街地と須賀川駅を結ぶルートながら、狭小で混雑していた路線を地元商店街振興組合と協力し整備したものである。県は、歩車道の幅や電線類地中化を施行し、地元が御影石の歩道舗装や街路灯・ベンチなどを施行した。ともに福祉の観点を取り入れ、安全で快適な道路を整備し、県の空の玄関口として地元の活性化と円滑な道路交通の確保を図ったものである。



起点側より終点側を望む



整備前

事業の効果

車道拡幅による渋滞解消等とともに、電柱等の障害物が無く歩車道の段差が少ないセミマウンドアップ型歩道の採用や、商店街施行のベンチ等により、人にやさしく安らぎのある道路空間が整備された。また、夜間の環境整備として、地元の伝統ある火祭り「松明あかし」をイメージした街路灯も設置された。これらにより中心街にふさわしい賑わいのある街づくりに寄与することができた。

- 延長：415m
- 幅員：16m
- 全体事業費：2,145百万円
うち街路事業費：2,145百万円
- 事業期間：昭和63年度～平成9年度

大阪モノレール事業

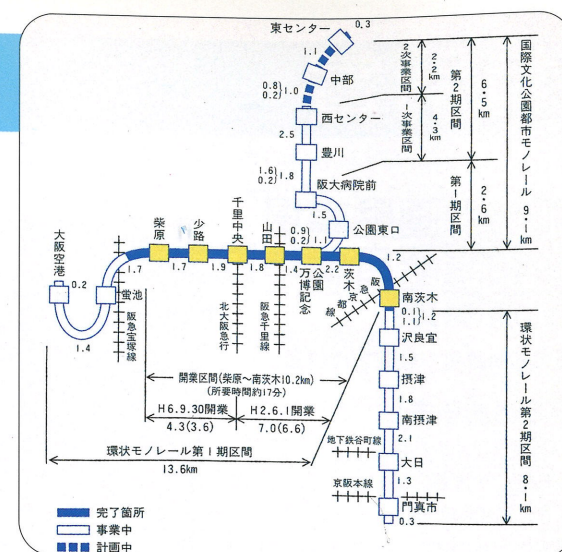
(池田市、豊中市、吹田市、茨木市、摂津市、守口市、門真市)

■表彰対象者：大阪府土木部 大阪高速鉄道株式会社

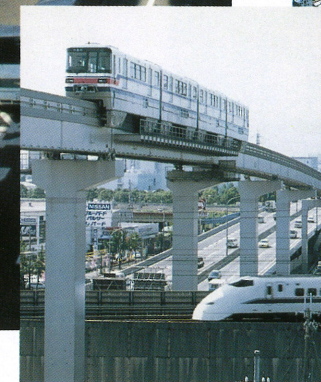
表彰の理由

大阪都市圏において初めて北部環状軌道系公共交通システムを整備し、放射状路線と緊密な連絡を図ることによって、多核都市構造の基盤づくりを行った点が今後の大阪都市圏の発展に寄与する施設として評価された。

また、路線は複雑な構造の幹線道路の制約の中を巧みに利用して建設している点など、設計・施工上の苦心が偲ばれる。



府道大阪中央環状線沿いを走行する大阪モノレール



東海道新幹線横断面



整備前



淀川横断面（整備後）



門真市駅上空写真

事業の効果

今回の開業により、新都心である千里中央駅周辺で商業業務機能のさらなる集積が進むとともに、摂津・南摂津駅の新駅周辺では、駅を地域の核とした街づくりが推進されるなど、都心機能の分散化が促進されるものと期待している。また、郊外で環状方向の移動が可能となり、都心部への人の移動が環状方向に転換すると考えられる。

- 建設延長：21.7km
- 営業延長：21.2km
- 全体事業費：約286,700百万円
うち街路事業費：約157,100百万円
- 事業期間：昭和57年度～平成9年度

事業のあらまし

大阪モノレールは、既存放射状鉄道を環状方向に結び、一点集中型の都市構造からもたらされる都心部への交通混雑の緩和及び駅周辺地域の発展による多核都市構造の創出を目的としている。

大阪国際空港から府道大阪中央環状線沿いに堺市域に至る約50kmの構想のうち、平成9年8月に大阪空港～門真市間21.2kmが営業開始した。